



営農経済トピックNo.378

平成27年5月11日

営農総合支援センター

(今週のメニュー)

1. 台風6号に対する農作物の技術対策について（別添）（営農総合支援センター）
2. 病害虫発生予察情報第2号（5月予報）（営農総合支援センター）
3. 園芸販売課情報 青果物の市場概況について（園芸部 園芸販売課）
4. 園芸資材課情報 園芸用施設における強風対策について（別添）（園芸部 園芸資材課）
5. 気象情報（営農総合支援センター）

1

台風6号に対する農作物の技術対策について（別添）

（発信部署：営農総合支援センター）

内 容：

群馬県農政部技術支援課より、表題の件について連絡がありましたのでお知らせします。

非常に強い台風6号は、13日（水）にかけて本州に接近する恐れがあります。そのため、寒冷前線に向けて湿った空気が流れ込み、県内でも局地的に激しい雨と強風が予想されますので、別添の技術対策を活用し農作物や施設の管理に十分ご注意ください。

<参考> 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

2

病害虫発生予察情報第2号（5月予報）

（発信部署：営農総合支援センター）

内 容：

群馬県農業技術センターより、表題の件について連絡がありましたのでお知らせします。以下URLよりご確認ください。

○群馬県HP「病害虫発生予察一覧」

<http://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

3

園芸販売課情報 青果物の市場概況について

(発信部署：園芸部 園芸販売課)

内 容：

	4月27日～5月2日	5月6日～5月9日
品名	高値 安値	高値 安値
ほうれん草 (200g) 袋	151～65	119～59
ふき (4kg) DB	1,620～864	1,404～648
にら (100g) 束	65～38	54～22
チンゲン菜 (300g) 袋	756～540	756～324
きゅうり (5kg) DB	2,700～648	1,944～432
なす (400g) 袋	216～108	194～130
トマト (4kg) DB	2,160～756	1,512～540
ミニトマト (200g) パック	162～76	119～54
いちご (300g) パック	356～162	356～86
小玉すいか (6玉) DB	5,400～2,700	5,400～2,700

4

園芸資材課情報 園芸用施設における強風対策について（別添）

(発信部署：園芸部 園芸資材課)

内 容：

昨今の爆弾低気圧（強風）によりパイプハウス等の園芸用施設が倒壊し、農産物への被害が発生することも予想されます。

つきましては、今後の対策として、別紙の「園芸用施設における強風対策について」を紹介させて頂きます。

お問い合わせ先

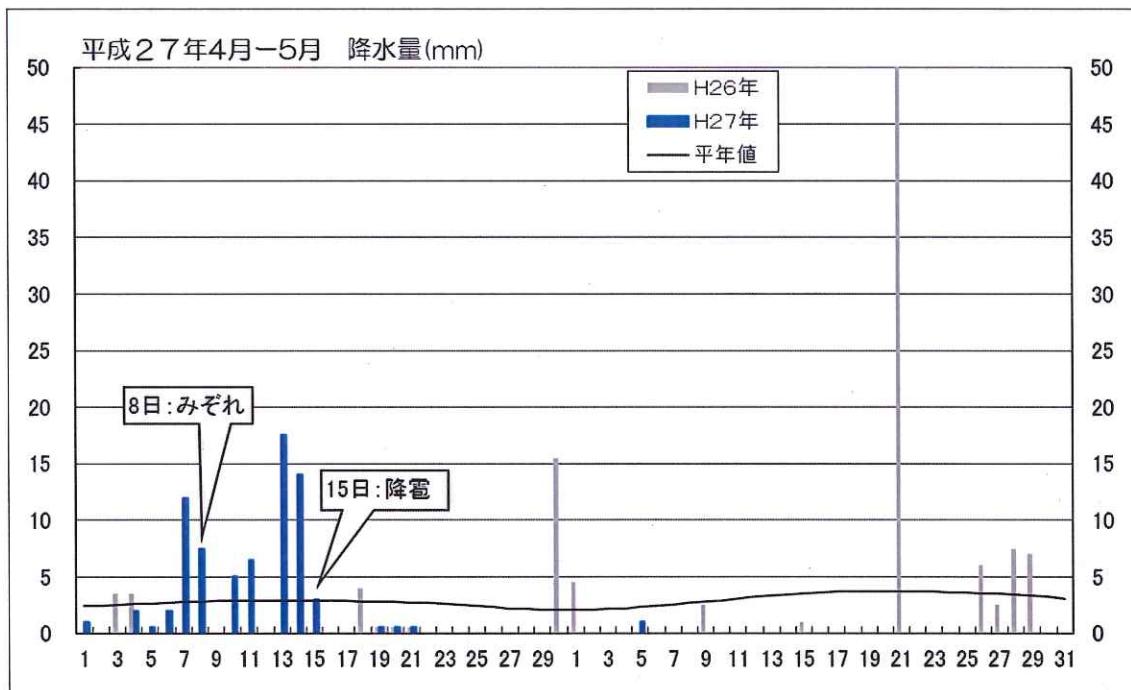
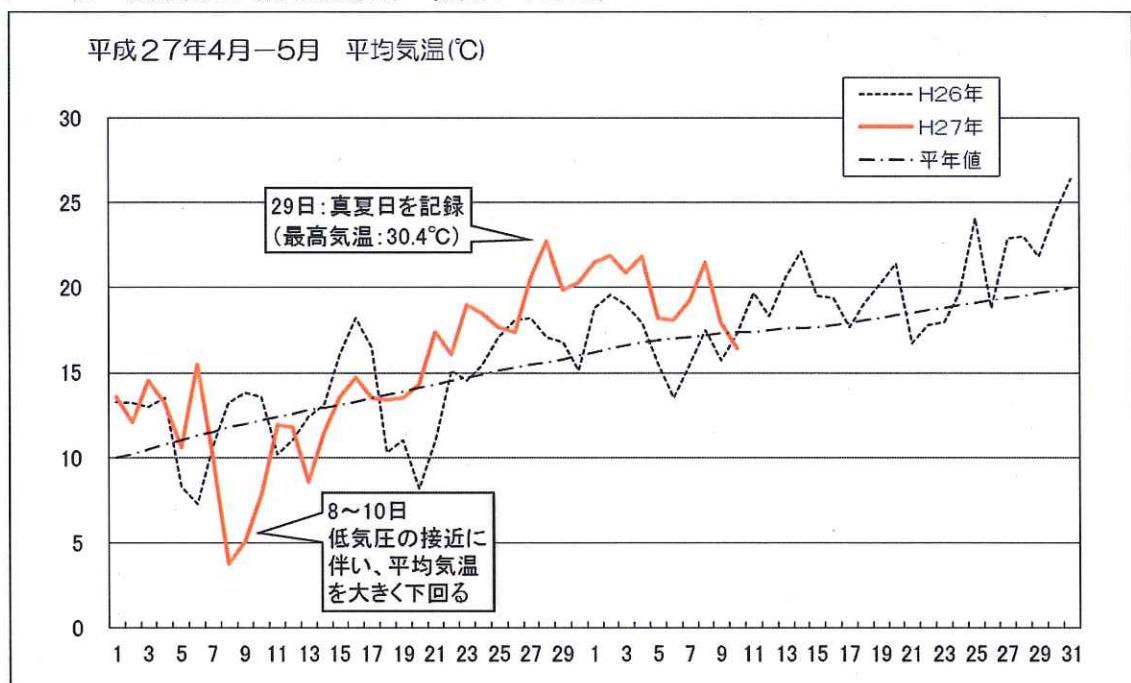
全農群馬県本部 園芸部 園芸資材課まで TEL 027-220-2291

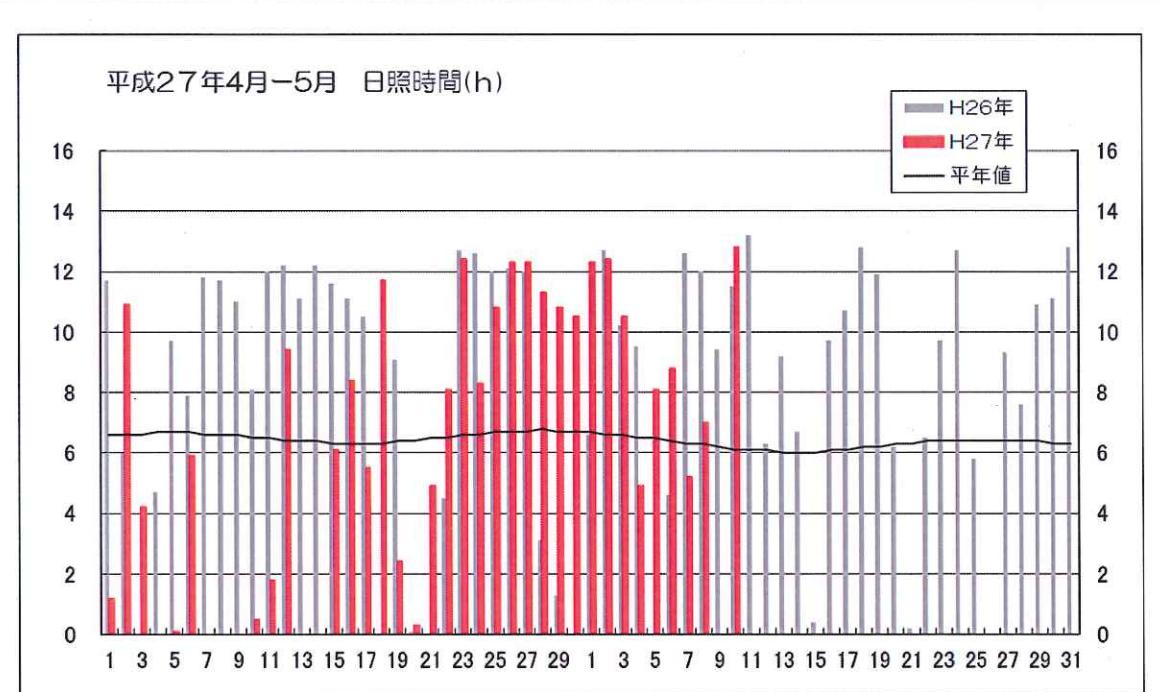
5

気象情報

(発信部署: 営農総合支援センター)

内容: 気象経過 (前橋気象台 標高 112m)





JAみどりの風 放送予定

本放送：月曜日 21時00分～21時30分

再放送：日曜日 8時00分～ 8時30分



＜今週の放送予定＞

(第1154回) 「旬を食べよう！なすとミニトマト」

放送日：5月11日（再放送日：5月17日）

内容：JA佐波伊勢崎より、なすとミニトマトの生産の様子やおすすめ料理をご紹介します。

＜次週の放送予定＞

(第1155回) 「明日の農業を支える！農林大学校」

放送日：5月18日（再放送日：5月24日）

内容：JA群馬中央会より、群馬県立農林大学校の様子や、卒業生が農業に取り組む様子をご紹介します。

営農総合支援センター 生産振興課

(TEL : 027-220-2255 FAX : 027-220-2024)

台風6号に対する農作物の技術対策

平成27年5月11日
技術支援課普及指導室

非常に強い台風6号は、11日6時にはバジー海峡あって、1時間におよそ20キロの速さで北に向かい、11日18時には進路を北北東から北東に向きを変え、13日にかけて本州に接近する恐れがあります。今後、寒冷前線に向けて湿った空気が流れ込み、県内でも局地的に激しい雨と強風が予想されますので、農作物や施設管理について対策の徹底を図りましょう。

1 共通事項

- (1) 事故防止の観点から、台風接近前後のほ場見回りは、大雨や強風が治まってから行うこと。
- (2) 局地的な大雨が予想され、ほ場が冠水する恐れもあるので、速やかな排水ができるよう備えること。これまで冠浸水したことのある地域については、前例を参考として重点的な対応を図ること。
- (3) 河川及び用水の増水並びに土砂災害の恐れがあるところでは、作業安全を第一としつつ、適切に対応すること。
- (4) 薬剤散布にあたっては、農薬ラベルに記載されている使用基準や注意事項を必ず守り、正しく使用すること。

2 普通作物

(1) 水 稲（早期・早植）

ア 事前対策

- ・用排水路の点検・整備を行い、ほ場への土砂等の流入を防止する。
- ・風雨による影響を軽減させるため、台風前に湛水状態（深水）としておく。
- ・育苗中の被覆資材等は補強するとともに、苗が冠水しないよう留意する。

イ 事後対策

- ・台風通過後は、風がやむまで湛水状態としておく。
- ・冠水したほ場は、速やかに排水するとともに、土砂が流入した場合も排出し、埋没した稲の回復を図る。
- ・移植直後で被害が発生した場合は、状況に応じて植え直しを検討する。
- ・育苗中の苗に泥等が付着した場合は、早急に清水で洗い流す。

(2) 麦類

ア 事前対策

- ・大雨に対応できるよう、排水溝の点検・整備を行う。

イ 事後対策

- ・ほ場内の停滞水は速やかに排水するとともに、土砂が流入した場合も排出する。
- ・倒伏した場合は状況に応じて別収穫とし、品質低下を防ぐ。

3 工芸作物

(1) コンニャク

ア 事前対策

- ・土砂の流入出防止のため、必要に応じて土のうなどを設置する。

イ 事後対策

- ・滯水、土砂の流入があった場合は、湿害や根腐病の発生を助長するため速やかに排水させる。
- ・作土が流失し種いもや根が露出した場合は、早急に土寄せを行う。

(2) タラノキ

ア 事前対策

- ・土砂の流入出防止のために、必要に応じて土のうなどを設置する。

イ 事後対策

- ・強風による倒伏は新梢が屈曲しないうちに出来るだけ早めに手直しする。
- ・滯水、土砂の流入があった場合は、湿害や立枯疫病の発生を助長するため速やかに排水させる。

4 野菜

(1) 事前対策

ア ハウスの被覆資材など傷んでいる箇所は、風雨が吹き込まないように修復しておく。
また、ゆるんでいるマイカーラインの張り直しや基礎の杭等の補強を行う。

イ 雨水がたまりやすいほ場は、事前に排水溝を掘っておく。また、ハウス内に雨水が流入しないように、土のう積み等の防水対策を図る。

ウ 露地野菜の支柱や誘引線、ほ場まわりの防風網はあらかじめ補強しておく。

エ 果菜類等で収穫期に達しているものはやや早めに収穫し、被害を最小限に抑える。

(2) 事後対策

ア ハウス施設やほ場に浸水した場合は、早期に排水溝を掘り排水に努める。

イ ハウスや防風網を点検して、損傷箇所があれば早めに補修する。

ウ 茎葉の損傷、湿度の上昇により、病害の発生が助長されるので適用農薬を散布する。
特に、使用時期の収穫前日数に注意する。

エ 天候回復後、草勢回復のために追肥や葉面散布を行う。

オ 排水後土壤表面が固くしまっているほ場では、土壤が乾燥しほ場に入ることが可能になつたら、浅く中耕する。

カ 果菜類で被害を受けた果実は摘果し、着果負担を軽くさせて草勢回復を図る。

キ 露地ナスなどの倒伏した果菜類の株は可能な限り起こすとともに、支柱や誘引線への誘引を行う。またネギが倒伏した場合も丁寧に起こし、軟白部が曲がるのを防ぐ。

ケ 育苗中や生育中の果菜類などでは、台風通過後に天気が急激に回復すると、ハウス内が高温となるので、天窓やサイド換気を速やかに行う。また遮光ネットを利用し強光による葉焼けを防止する。

コ 収穫した野菜は、傷みがないか良く確認しながら調製作業を行い、流通中に発生する荷傷みや腐敗の発生を防ぐ。

5 果樹

(1) 事前対策

ア 多目的防災網や防風ネットの緩んでいるワイヤーやひもは張り直し、ネットがずれたり、飛ばされないように補強する。また、ネットが破れている部分を補修する。

- イ トレリスは、隅柱や中柱の横ぶれ、架線の張り等を点検し、必要に応じて締めなおす。
- ウ ブドウやオウトウなどの雨除け施設は、ビニールが飛ばされないように補強するか、場合によっては除去する。
- エ 幼木やわい性台リンゴ樹は、支柱や添え木を点検し、不備な場合は支柱や縄(ひも)を取り替えるなど補強を行う。
- オ 高接ぎした樹では、接いだ部分から折れやすいので添え木をする。
- カ 園内に水が溜まらないように排水溝を掘るなど、十分な排水対策を行う。
- キ 小ウメなど収穫が可能な品目については事前に収穫しておく。

(2) 事後対策

- ア 果実のすり傷、葉の裂傷等から病害発生のおそれがある場合は、速やかに適用薬剤を散布する。なお、薬剤散布にあたっては使用基準を厳守する。
- イ 浸水、滯水している園では、速やかに排水溝を掘るなど排水に努める。
- ウ 倒伏や傾いた樹であっても回復可能なものは、出来るだけ早く起こし、盛土、支柱で固定し、地下部とのバランスをとるために適宜枝の切りつめを行う。
- エ 枝が裂けた場合は、針金、ボルト等で固定する。回復不能な場合は切り落とし、切り口に塗布剤を塗る。
- オ 枝の損傷や落葉が甚だしい樹では果実肥大、品質が低下するので、再度着果数の見直しを行う。
- カ 仕上げ果は、果実の傷や損傷程度が明らかになってから行う。なお、傷果であっても樹勢バランスを考慮して、極端に強い摘果は避ける。
- キ 樹勢回復のための追肥は、被害直後には行わず、礼肥の時期となってから樹勢に応じて施用する。

6 花き

(1) 事前対策

- ア 湿害の発生しやすいほ場では、周囲に排水溝を設け、速やかに排水できるようにしておく。また、ハウス内に雨水が流入しないように、必要に応じて土のう積み等の防水対策を図る。
- イ ハウスは必要に応じて補強や破損箇所の補修等を行い、風で飛ばされないよう対処する。

(2) 事後対策

- ア 冠水、浸水したほ場では、速やかな排水に努めるとともに、肥培管理を的確に行い生育の回復を図る。
- イ 切り花類等で株元が土砂で埋まって深植え状態になったものは、早期に土砂を取り除き天候の回復を待って浅く中耕する。
- ウ 枝物類・切り花類では、強風によって折損した茎葉の整理と適用薬剤散布を的確に行い、病害の発生を防止する。
- エ 被覆資材、支柱等栽培施設の点検・修復を行う。キクなどの電照施設においては、速やかに作動状況の点検を行い、電照処理等が確実に行われるよう確認する。

7 畜産

(1) 飼料作物

ア 事前対策

- 降雨により、草地や飼料畑に水や土砂が流入する恐れがある場合は、防水や排水対策を実施する。

飼料ムギについては麦類の項を参照。

イ 事後対策

(ア) 飼料用トウモロコシ

- ・水田に栽培している場合は、排水対策が重要となる。降雨のためほ場に滞水している場合は、速やかに側溝を設けて排水を行い、湿害による生育不良を最小限に止める。

(イ) ソルガム

- ・平坦地等の水田に栽培している場合は、排水対策を徹底する。ほ場が滞水した場合は、側溝を設けて速やかに排水する。

(ウ) 牧草類

台風の風による被害は比較的少ないものと考えられるが、生育が進み草丈が伸びているものは倒伏が心配される。この場合は速やかに刈り取りを行い、品質を見ながら利用する。

(2) 畜舎及び付属施設等

ア 事前対策

(ア) 畜舎の風雨被害を防止するため、屋根や窓、入り口の点検を行い、必要があれば補修や補強等を実施する。雨や風が畜舎内に吹き込まないように戸締まりを行う。

(イ) 堆肥舎やハウスかく拌処理施設への風雨被害を防止するため、施設の事前点検を実施し、窓や入り口は戸締まりを行う。雨水の施設内流入や尿汚水が流出しないよう施設及び堆肥の管理を行う。

(ウ) 飼料庫、農業機械・器具格納庫

風雨被害を防止するため点検を行い、必要があれば補修や補強を実施する。飼料、農業機械・器具は雨にさらされないよう管理する。

イ 事後対策

(ア) 雨が畜舎内に吹き込んだ場合は、敷料等の交換を行って畜舎内を乾燥状態に保つ。

(イ) 飼料養分の低下した飼料作物を給与する場合にあたっては、栄養価、嗜好性にも配慮し、家畜の生産性が低下しないように注意する。

8 養 蚕

(1) 事前対策

簡易ハウス等は補強を行い、台風被害を未然に防ぐ。

(2) 事後対策

ア 浸水、冠水の被害を受けたほ場は、速やかな排水を図るとともに、病害虫の発生に注意し防除に努める。

イ 桑葉が損傷した場合は、葉質が悪化するので貯桑管理を厳重にし、給桑回数を増やす。

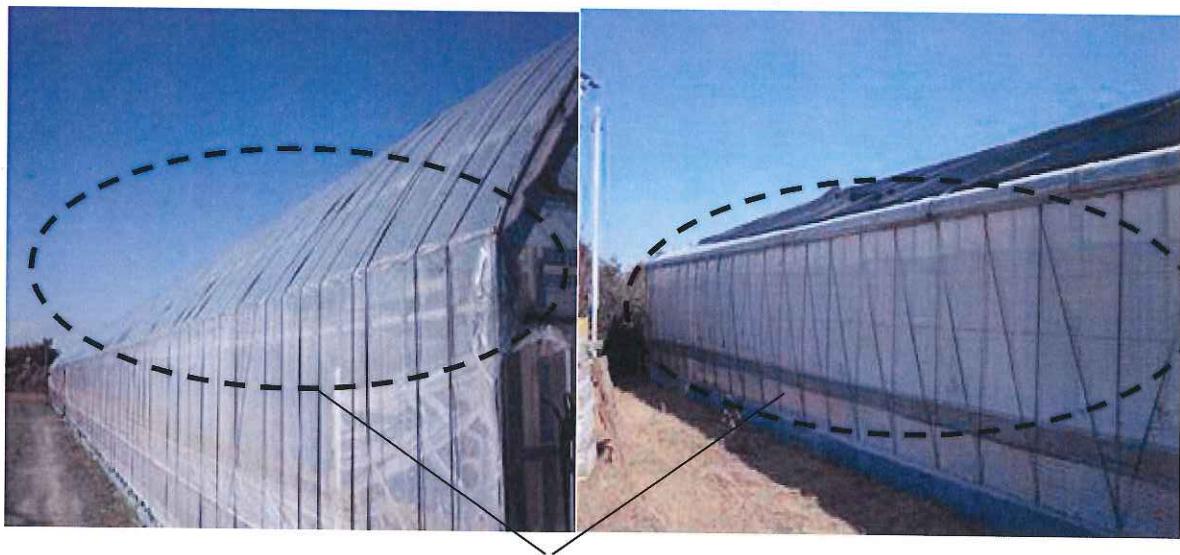
園芸用施設における強風対策について

園芸用施設（特にパイプハウス及び使用年数の長い鉄骨ハウス等）の強風の対策として以下の点に留意し、強風時の被害を最小限に出来るようご活用ください。

1 事前対策

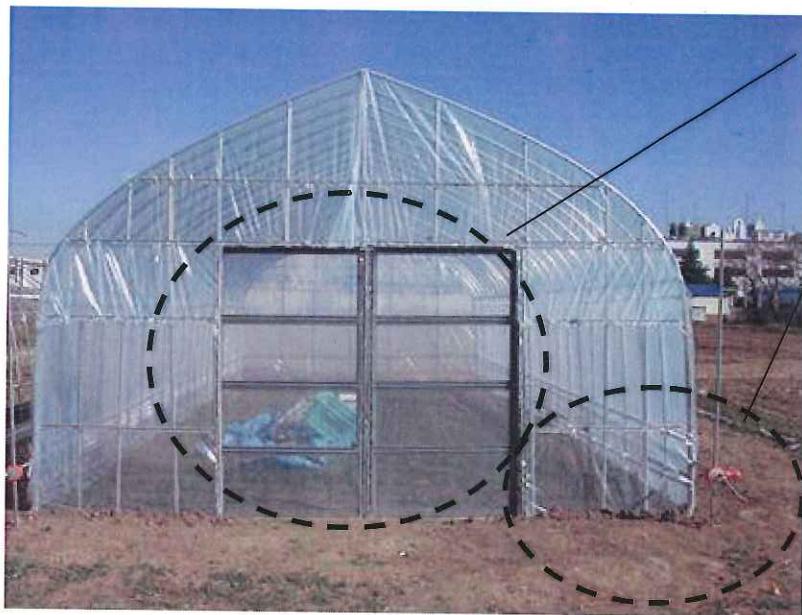
※強風時は危険であるため、ハウスには近づかないこと。やむを得ず直前まで作業する場合は、ヘルメット等を着用して万全を期すること。

- (1) 強風に関する情報について、行政などの関係機関との連携体制を整備し、気象庁の台風情報を基に雨・風の強さや進路等の状況を十分に把握すること。
- (2) ハウス周辺は、強風により資材などが飛散しない様に整頓しておくこと。
- (3) ハウスに展張されているフィルムに破損およびシワ・たるみがあると耐風性が低下するため、修正しておくこと。
- (4) ハウスバンド（押さえひも）が未設置の場合は、可能であれば設置すること。既設の場合は本数を増やし、締め直して補強すること。端部の止め部にも外れがないことを確認し、破損している場合は止め直すこと。
- (5) ビニペットで固定している場合は、ビニペットレールやスプリングの緩みや外れが無いか確認し、破損している場合は交換しておくこと。



- ビニペットやバンド端部の外れや緩み、破損等が無いか確認してください。

- (6) アンカーやらせん杭で補強されている場合は、緩みやたわみが無いか確認すること。
- (7) ハウス内に雨水が浸入しないように、周囲の排水溝を整備しておくこと。ハウスの雨どいについても、詰まりなど無いよう整備しておくこと。
- (8) ハウスは締め切り、天窓・側窓が開かない様にしておく（自動の場合は電源を切ること）。出入り口も施錠またはロープ掛け等で開かない様にしておくこと。



出入口は施錠またはロープ等で固定してください。

ハウス周囲は整頓し、資材が飛散しない様にしてください。

- (9) インバータで回転数調整可能な換気扇がある場合は、しめ切った状態で（吸気シャッターも閉じる）緩く稼動させ、ハウス内を負圧にしておくことでフィルムのばたつきが抑えられる。風が弱まったら、すぐに停止させる。
- (10) 自動換気をしているハウスは、ハウスをしめ切った後の温度上昇で稼動しないようにしておくこと。
- (11) フィルム使用年数が経過している場合は事前に撤去または切っておいた方が、ハウスは倒壊しにくくなる。栽培状況を鑑み、判断する。
- (12) 暖房機設置ハウスであれば、暖房期間でない場合は暖房機の電源を切り、燃料タンクのコックは閉めておくこと。タンク固定ボルトが緩んでいないことを確認（増し締め）し、配管周辺も整理しておく。煙突固定部の緩みが無いかも確認すること。



煙突固定部にゆるみが無いか確認してください。

タンクのコックを閉め、油漏れしない様にしてください。

- (13) 可能であれば、通過後の停電に備えて発電機の手配をしておく（換気や灌水のため）。

2 強風後の処置

※風雨が收まり、施設の安全が確認された時点で確認・修復作業を行うこと。

- (1) 強風後は急激に気温が上昇する多いため、安全が確認されたら早急に施設などを点検し、破損箇所を修正する。
- (2) 破損が著しく、解体が必要な場合は、部材を外した時にパイプの跳ね返り等で怪我をする可能性があるため、できるだけ業者や経験者の応援を要請すること。



変形により、想定されない方向に荷重がかかっている可能性があります。
外す時は複数人で、状態を確認しながら解体してください。



バンドの張り具合から、潰れている方向に引っ張られていることが想定できます。

- (3) 停電していない場合は、カーテン等の機器類を稼動させ、断線していないか確認する。また、歪みが発生していないか、終点まで確実に稼働させて動作確認する。



弛みや歪みにより、開閉に支障がないか、全閉・全開を目視で確認してください。

- (4) ハウス内外に水が溜まっている場合は、積極的に排水する（できればポンプ等を利用する）。
- (5) 作物が潮を被った場合は、散水して茎葉に付着した塩分を洗い流すこと。植物体の痛みが多い場合は、必要に応じ殺菌剤（疫病対策）の散布も行う。
- (6) 連続して強風となることもあり得るため、関係機関と連携し、以上の対策をできるだけ早急に実施すること。

以 上